

美郷がいちばん、すきです美郷

ふかしの 議会だより

第15号
2008.4.15

3月定例会

美郷の水を次世代に	水環境条例制定	2
平成20年度のまちづくり	事業概要	4
美郷らしさの発現へ	全体質疑	6
歳入に質疑集中	常任委員会審査	8
町長が決意表明	一般質問	12
出合いを大切に	キラリ美郷人	16

元気に返事ができました

11人の児童が入学した六郷東根小学校入学式より

発行／秋田県美郷町議会
編集／議会広報特別委員会

美郷の水を次世代に

水環境保全条例制定

3月定例会を、3月4日から14日までの11日間の会期で開きました。審議した議案は、水環境保全条例の制定や平成20年度一般・特別会計の当初予算など43議案。その全てを、原案のとおり可決しました。また、一般質問には5氏が登壇し町政をただしました。

今 定例会で制定した『水環境保全条例』は、あらゆる命を長くみ、人々の暮らしを潤し、かけがえのない美郷町の文化、産業、経済などを長く守ってきた清浄な水環境について、今後とも大切にする意識を喚起するとともに町民共有の貴重な財産として保全し、次世代に引き継いでいくことを目的としています。

また、町・町民・事業者相互の共通認識として、水環境が美郷町を象徴する地域資源であり連携して保全に取り組むことなどを謳っています。

条例では、山林形成や生態系の維持、良質な水質・水量の持続など町がおこなう水環境保全のための具体的方策を掲げていますが、併せて、町民や事業者の皆様のご理解と連携・ご協力をお願いします。

平成19年度 フォトコンテスト 美郷の風景10選より(せせらぎ公園)

6事業を柱に新予算決まる 一般会計 103億5,933万円

財 政の健全化を基本認識に編成された、平成20年度一般会計予算の総額が103億5,933万円となりました。19年度に比較し5・5%の減少ですが、施設管理体制の見直しなどによる経費の削減などに工夫を凝らし、政策経費の確保に留意した予算です。

- 二. 地域内
交流と地域
経済の活性化に向けた
『地版地消』
の推進
- 三. 美郷米を
基軸とした
東京都大田
区との交流
の推進
- 四. 地域内交
流と公共交
通空白地域
の解消に向
けた『予約制乗合タ
クシー』の運行
- 五. 災害に強いま
ちづくりを指
した施設整備の
推進
- 六. 『公共施設のあ
り方』など検討
を重ねてきたプ
ロジェクトの具
現化

各会計別の予算比較表(別表) 単位:千円

件名	平成20年度	平成19年度	比較
一般会計	10,359,330	10,965,000	△605,670
国民健康保険特別会計	2,283,100	2,442,049	△158,949
老人保健特別会計	231,455	2,596,406	△2,364,951
簡易水道事業特別会計	647,162	488,607	158,555
下水処理事業特別会計	208,226	197,583	10,643
農業集落排水事業特別会計	321,763	212,033	109,730
後期高齢者医療特別会計	206,089		206,089
計	14,257,125	16,901,678	△2,644,553

大田区蒲田駅に設置した鳥追い小屋

を、主な取り組みとして推進します。また、特別会計は『後期高齢者医療特別会計』が新設された6特別会計となりました。各会計の当初予算額は別表をご参照ください。

町長が、施政方針で示した「まちづくりは「一歩ずつ」の認識のもと、一般・特別会計合計142億5千712万5千円での平成20年度まちづくりがスタートします。

第3回 議会改革議会全員協議会

議員発案で費用弁償を廃止

議 会では『議会改革議会全員協議会』を設置し、2月12日開催された第3回協議会では、その一環として費用弁償(議員報酬と別に支払われる日当)の見直しについて話し合い、本会議と常任委員会出席での費用弁償廃止を決めました。

この条例改正案を、今定例中、議長を除く全議員の発議で提出し可決しました。施行日は、平成20年4月1日です。

なお、この改正により年間214万円ほどの経費削減が見込まれます。



美郷町議会では、議会改革などへの町民の皆様のご意見・ご要望をお待ちしております。

住所/美郷町土崎字上野乙一七〇番地一〇
電話/0187-8414912

20年度予算を斬る

美郷らしさの発現へ

全体質疑を要約し掲載します。

歳入

起債についての考えは

議員 合併時の計画に比べて、起債額が低くおさえられているがその理由は。

総務課長 町民に不安を与えない事と、財政指標をクリアできる様に配慮した。工夫を重ねて政策予算を確保している。

税源移譲の中味は

議員 国から移譲される税の中味とふるさと納税の状況は。

税務課長 所得税が減税

歳出

温泉無料券を他の施設でも利用できないか

議員 温泉無料券の利用は、千畑温泉保養所に限

議員 県では平成22年まで104項目の権限移譲をする方針のようだが、町の考えはどうか。

総務課長 各課で精査し、財源も含めて検討し、有利なものについて移譲を受けていく。

議員 今年が小作料の改定の年になっているが、基準を県にあわせるのか

どこに描く田園アート

近隣市にあわせるのか。農業委員会事務局長 圃場条件に違いのない大仙市の例を調査し、農業委員会会で決定する。

議員 うりこめ美郷応援事業の田園アートの実施圃場はどこか。色と使う

稲の種類は。農政課長 場所は道の駅の西側で、60坪を予定している。あきたこまちや古代米など3色を使うが初年度なので取り組みやすいデザインにしたい。

こだわり米大田区への販売目標は

夢プラン応援事業の見通しは

議員 こだわり米の作付予定面積は。また大田区に売りこむ量は。

農政課長 堆肥を使った美郷米、減農薬栽培の美郷米として売り込みたい。当初は30畝で162tの計画だが将来100tまで拡大していきたい。

議員 県の財政事情から、夢プラン応援事業の継続を危ぶむ声もあるが。

農政課長 町内の要望は64件あるが、全部採択になるとは限らない。21年度以降の県の情報はまだ入っていない。



豊かな田園の美郷町

転作田での飼料作物の有効活用を

議員 バイオ燃料関連など、世界的な影響で、飼料の価格が高騰している。転作田での飼料作物はもっと有効活用するべきだ。

農政課長 ホールクロスプサイレージが取り組まれている。有効活用される方向で指導していく。

農地水環境保全向上対策事業は順調か

議員 農地・水事業は問題なく実施されているか。

また町内のカバー率は。農政課長 順調に実施されており、町では巡回指導もしていく。カバー率は72%位だ。

温泉ポンプの耐用年数は

議員 千畑温泉のポンプを交換するようだが、耐用年数は何年か。商工観光課長 条件にもよるが、5〜10年だ。

地販地消事業の理念は

議員 地販地消事業の交

付金と事業の具体的な目的は何なのか。

農政課長 地域活性化センター交付金だが、枠があれば申し込みできる。事業の理念は、町民も消費者だと捉え、町内での購買やサービス利用を増やすことだ。

町長 この事業を通して地域内交流を深め更なる町内の一体感の醸成を図りたい。

企業誘致にどう取り組むか

議員 定住人口を増やし、町の活性化を図るために、企業誘致を積極的に進めるべきだ。また、県の神岡地区工業団地へのアプローチは。

商工観光課長 大田区との交流の中で商談会や企業連携の会議が開かれている。また県の立地セミナーに町長も出席し、情報を収集している。町長 企業誘致は、町レ

防災行政無線事業の内容は

議員 防災行政無線の工事が始まるが、具体的な事業内容は。

住民生活課長 5ヶ年継続の事業で、災害に対応できる防災拠点の整備や災害時の避難広場の整備などメニューは多い。20年度は、子局の設置をする。

除雪方式、統一する考えはないか

議員 ローター車と除雪ドーザの購入予定だが、除雪方式の統一を図られないか。建設課長 旧町村の方式を継続しているが、積雪



農地水環境事業の取り組み

自動体外式除細動機の導入はどこに

議員 自動体外式除細動機の導入が計画されているが内容についてうかがう。

学務課長 運動などで心肺停止の際電気ショックを与えて心臓を動かす機械で、AEDと呼ばれている。各小学校に配置する。

小学校でもフッ素洗口できないか

議員 幼保施設で行われているフッ素洗口は、小学校でも実施した方が効果が高いと思うが。学務課長 保護者の意見や、時間確保などの課題がある。



湧太郎前での朝市

総務常任委員会

歳入に質疑集中

総務常任委員会では、一般会計予算の歳入全般と、議会費、総務費、商工費、公債費、諸支出金、予備費を審査しました。その結果、全会一致で可決すべきものとなりました。



●一般会計

議員 地方道路譲与税とはガソリンの暫定税率のことか。

総務課長 その通りだ。現状どおり廃止されないという前提で8千30万円程の予算を計上した。

議員 仮に、廃止された場合はどうなるか。

総務課長 廃止されれば、交付額が下がるとしか現時点では言えない。

議員 奨学金の貸付人数と延滞金の額、未償還者の人数は。

学務課長 貸付者は229人だ。未償還者は5人で、延滞金はかからない。

議員 実質公債費比率(※)を、平成23年度までに17.4%まで下げるとあるが具体的な取り組み策は。

総務課長 基本的には、戻す額より少なく借り入れる、職員数の削減、公共施設に係る経費を最小限に抑える、財源に余裕がある年は繰り上げ償還をする、などが考えられる。

議員 将来的構想として、職員数は何人体制を想定しているか。

総務課長 平成26年度までに230人体制を想定している。

議員 定住促進事業の取り組み状況は。

企画課長 定住ガイドを配布し、情報登録を呼びかけている。また、大田



男の料理教室

区との物販交流で呼びかける。

議員 物価の上昇で、給食食材が上がっていると報じられている中で、前年よりも予算が少なくなっているのはどういう訳か。

学務課長 金額が減ったのは児童、生徒数の減少だ。単価的には前年と同様で計上している。物価は上昇しているが、献立を工夫しながらやりくりしている。

議員 男女共同参画住民懇談会だが、女性の活躍の場をもっと広げていくとか、発展的な考えはないか。

企画課長 男女共同参画基本法に基づいて取り組んでいるが、なかなか女性の参画者がいないのが現状だ。町では昨年から「男の料理教室」を企画し開催している。15人程度の参加者があり、徐々に浸透していると感じている。

教育民生常任委員会

医療費抑制 予防医療に重点を

教育民生常任委員会では、一般会計予算の民生費・衛生費・消防費・教育費と、特別会計の国民健康保険・老人保健・後期高齢者医療を審査しました。その結果、出席委員の全員賛成で全て可決すべきものとなりました。

●一般会計

議員 社会福祉総務費が前年比1千100万円増、社会福祉費全体で17億円と予算の1割以上を占める。福祉・医療費の削減が課題とも考えられるが。

福祉保健課長 少子高齢化社会での社会保障費削減

減は無理があり、増額幅の圧縮が基本的な考え方だ。医療費の抑制は、予防医療や健康対策に重点を置き対応する。

議員 ポイント制ボランティア制度の廃止は、住民参画のまちづくりに逆行するのではないか。

福祉保健課長 この制度は、除排雪活動など限定的に使われ拡大方に向かわなかった。ボランティア活動には多くのものがあり、また自発的活動を望む考え方で廃止した。

議員 医療制度改革での主な変更点は。

福祉保健課長 後期高齢者医療制度の創設、70歳以上の方の窓口2割負担、医療保険者による健診事業などだ。

議員 公共施設のあり方の検討に、保育園・幼稚園を含んでいるか。また、

民間委託の検討は。幼児教育課長 教育委員会所管の『望ましい学校規模を考える委員会』で、適正規模を検討している。法人化の検討はない。

議員 ごみ処理費の増加でゴミ袋の有料化に踏み切るが、減量化への今後の取り組みは。

住民生活課長 今、可燃ごみが増えており、分別収集での資源化を徹底したい。また、資源化できる種類増も模索する。

議員 教育施設の統廃合は、20年度はどこまで決定するか。

学務課長 19年度から3カ年で結論付ける方向で、今年度アンケート調査し課題を洗い出した。20年度は、その課題に対する方策を検討する。

議員 特区申請し行っている幼保一体保育の効果と課題は。

幼児教育課長 子どもたち一人ひとりが、のびのびと成長している。課題は、町でも進む核家族化への対応だ。

議員 公共施設のあり方の検討が憶測を呼び、老朽化した六郷公民館がなくなる噂も飛び交うが。

社会教育課長 公民館に關しては、3地区3館方式と統廃合が考えられるが、すぐ壊すのではなく使える施設は使っていく考え方だ。

●後期高齢者医療特別会計

議員 国が定めた法律に従っての特別会計で、保険者は広域連合だが、町とのかわりは。

福祉保健課長 国保は、保険者が町なので裁量の余地と運営責任がある。この制度は、基本的に裁量の余地はないが、広域連合が市町村の合意体というかわりがある。



中学生による除雪ボランティア活動

20年度予算の重点施策は 水環境保全と 大田区交流推進だ



戸澤 勉 議員

議員 平成20年度の予算編成に当たり、特に力を入れた施策と事業、また5年後、10年後の将来を見据えた町の姿をどう描くのか。次の3点についてうかがう。

①財政の見通しとその運用について
国の借金が838兆円を越え解決の道筋が見えない国政は情けない限りだが、我が美郷町の現状はどうか。

②ハード事業について
役場庁舎や、小・中学校の統廃合について議論すべきと思うが。

③ソフト事業について
多くの町民が参加できる施策の展開を希望する。

町長 新年度予算の編成については、主な取り組みとして次の6項目を掲げている。「水環境の保全」「地販・地消の推進」「大田区との交流推進」「地域内公共交通の構築」「防災施設整備」「各種プロジェクトの具現化」だが、その中で特に力を入れる取り組みは、水環境保全と大田区との交流推進だ。

①財政見通しについては、平成18年度の決算で住民1人当たりの起債残高が約70万円となり、全県25市町村の中で多い方から11番目に位置する。こうした現状を踏まえ、



温泉施設のあり方も検討されています

②ハード事業については、公施設や学校、温泉施設のあり方について方針をまとめ、年度末までに具体計画を策定している。

③ソフト事業については、心身の健康づくりの事業を展開すると共にボランティア活動を促進する仕組みを構築し、外出機会の創出あるいは交流を促進する取り組みにも力を注いで多くの方々の参画を期してまいります。



答弁する松田町長

改選年に向けての 町長の考えは 引き続き先頭に

町長が決意表明

今定例会の一般質問では、2名の議員が町長の2期目への姿勢をうかがいました。他に、農業問題や都市交流などをいただきました。

質問者

- 武藤 威 議員
- 戸澤 勉 議員
- 深沢 義一 議員
- 飛澤龍右工門 議員
- 吉野 久 議員

(質問の掲載は順不同です)



深沢 義一 議員

議員 我が美郷町も誕生から3年と数ヶ月、着実に安定と一体感を築いて

きた。

公平誠実、展望を信念に「融和と前進」のまちづくりを進めて来た松田丸も任期最終年になる。平成20年度の出航に当たって、11月の改選に向けて早い時期に意思表示する事が、町の安定を求め町民に対しての責務と考える。

町長 私は融和と前進を基本姿勢に据え、まずは

各地域の見えない壁を乗り越えて、町としての一体感が早期に醸成されるように各地域の課題を解消しながら、町政推進に努めてきた。町民憲章や町民歌など心のよりどころの芯づくりや、旧町村の継続事業の早期完成に意を払い、まちづくりの指針となる総合計画を策

定して着実に留意したまちづくりに取り組んできた。

しかし着手を今後に待たせている課題もあり、課題解決のまちづくりに取り組んで来た責任者として、今後も役割を担わ

せていただきたいと考えている。

私は『誇れる美郷のまちづくり』の実現を目指し、引き続き先頭に立って舵取りをさせて頂きたい決意を表明する。

町では極力、国や県補助金、あるいは交付金などを確保して整備を推進していくよう努めてきた。今後とも起債残高の減少

に努め、町民が不安を抱かないように財政状況を是正していくことも、私の責任であると認識して

売れる美郷産物の工夫を望む 連携した事業展開を考える



小学生による農業体験



吉野 久 議員

議員 大田区との交流が、閉塞感ある地域経済の打開策と考え質問する。

- ①美郷産物の通年交流を目指すなら、JA・商工会や生産者・事業者の意識改革が必要だ。参画者増と自主的運営、売れる美郷産物の工夫を望む。
- ②米が基軸の交流には、高品質・良食味米の確保が不可欠だ。美郷ブランド確立事業での条件撤廃と助成金増額。また、畑作物の減農薬・減化学栽培に高上げ助成を望む。
- ③人事交流の人選では、夢を抱き自ら出向を望む『バイタリティー』ある職員の公募を提案する。
- ④交流の発展には、共有するメリットが必要だ。絆を強くするために、文化交流事業を提案する。
- ⑤大田区民や他の観光客来町の動機付けに『いやし』を特化できないか。

- ①農地情報のデータベース化
- ②耕作放棄地の解消策
- ③優良農地の確保対策
- ④農地の面的集積
- ⑤所有から利用への転換



大田区蒲田駅前での物産販売

町長 ①参加者増と組織化、自主的運営には調整が必要だ。また売れる工夫には『清浄な水』や堆肥利用での『安全・安心』などイメージ戦略が必要だ。商工・農業団体の得意分野であり、連携した事業展開を考える。

町長 ①参加者増と組織化、自主的運営には調整が必要だ。また売れる工夫には『清浄な水』や堆肥利用での『安全・安心』などイメージ戦略が必要だ。商工・農業団体の得意分野であり、連携した事業展開を考える。

町長 ①参加者増と組織化、自主的運営には調整が必要だ。また売れる工夫には『清浄な水』や堆肥利用での『安全・安心』などイメージ戦略が必要だ。商工・農業団体の得意分野であり、連携した事業展開を考える。

町長 ①参加者増と組織化、自主的運営には調整が必要だ。また売れる工夫には『清浄な水』や堆肥利用での『安全・安心』などイメージ戦略が必要だ。商工・農業団体の得意分野であり、連携した事業展開を考える。

町長 この路線の未改良区間は、秋田県側が1、740m、岩手県側は800mあるが、18年度以降の整備を進めるべきと考えるが、県に対しての要望はしているのか。

町長 ①参加者増と組織化、自主的運営には調整が必要だ。また売れる工夫には『清浄な水』や堆肥利用での『安全・安心』などイメージ戦略が必要だ。商工・農業団体の得意分野であり、連携した事業展開を考える。

町長 ①参加者増と組織化、自主的運営には調整が必要だ。また売れる工夫には『清浄な水』や堆肥利用での『安全・安心』などイメージ戦略が必要だ。商工・農業団体の得意分野であり、連携した事業展開を考える。

町長 ①参加者増と組織化、自主的運営には調整が必要だ。また売れる工夫には『清浄な水』や堆肥利用での『安全・安心』などイメージ戦略が必要だ。商工・農業団体の得意分野であり、連携した事業展開を考える。

非協力者への 直接訪問指導している



飛澤龍右工門 議員

議員 全国的な米余り状況を解消するために、国では地域水田農業活性化緊急対策交付金制度を打ち出し、町でも取り組んでいる。19年度、町の転作率は100%をクリアしているものの、非協力者が50数名いると聞く。この人達に対する指導の取組みについてうかがう。

町長 56名の非協力者には、2月中旬から直接訪問指導をしている。その結果6名が協力、11名が対策への参加を検討する

町長 56名の非協力者には、2月中旬から直接訪問指導をしている。その結果6名が協力、11名が対策への参加を検討する

矛盾の多い米政策 町の対応は 国の制度を推進している



武藤 威 議員

議員 今年の米政策は、更に生産調整の強化だ。「過剰作付をやめれば、米価の下落を抑えらる」としてきたが、米価安定の保証があるだろうか。

議員 政府は農地法の改正を目指しているが、農地法の果してきた大きな役割が後退するのではないかという危惧している。現在の議論状況はどうか。

議員 秋田県の出生数は全国最下位である。数多い要因の中から経済的負担軽減が求められる。子育て支援策として妊婦検診の公費負担拡充の考えは。

町長 町では一般検診7回、他に3回の支援をしている。県の動向を注視しながら、対応を検討したい。

町長 町では一般検診7回、他に3回の支援をしている。県の動向を注視しながら、対応を検討したい。



0歳児保育

町長 町では一般検診7回、他に3回の支援をしている。県の動向を注視しながら、対応を検討したい。

町長 町では一般検診7回、他に3回の支援をしている。県の動向を注視しながら、対応を検討したい。



東北ブロック大会で最優秀チームに輝いた『アスパルズ』



出会いを大切に

伊藤 毅さん
(美郷町六郷在住)

体育館に、子どもたちの元気な声がかだましています。町の35スポーツ少年団のひとつ『六郷アスパルズ』の練習にお邪魔し、指導する伊藤毅監督（34歳）にお話を聞き

ました。

『アスパルズ』は、平成19年度のスポ少活動の中でひととき輝いた少年団です。夏の『東北電力旗大会』では、2年連続優勝し本戦の東北大会で初の3位。1月の『魁杯全県大会』では、31年ぶりのベスト4に進出し過去最高成績の準優勝を果たしました。そして、3月1・2日開催された東北ブロック大会で全勝して最優秀チームに輝いています。

伊藤監督が目指すチームづくりは「常に走り続けるバスケットボール」の展開で、指導方針は「スポーツを通じて挨拶や礼儀、体力を養い、心身共に成長できる子どもたち」の育成。そのために、監督自身も走り回り、子どもたち一人ひとりに声をかけます。

練習後「私自身が、バスケットボールを通じた人との出会いで育てられた。子どもたちには、練習試合や大会での交流を楽しみ、人との出会いを大切にしてもらいたい」「子どもたちの夢や目標に、少しでも近づくための手助けをして行きたい」と語った額に汗が光っていました。

編集後記

動機は「誰でもよかった」あまりにもひどすぎないか。人は場合によっては、攻撃し殺害しようとする破壊行動を爆発させる生き物なのか。たとえそうだとしても、その欲望を自制するのが人間ではないか。残念至極で悲しい限りだ。

議会報づくり3年目、町民に見やすく親しみやすい広報づくりに専念し活動します。

鈴木 良勝

議会特別委員会

議長	伊藤 福章
委員長	吉野 久
副委員長	高橋 正治
委員	熊谷 隆一
委員	鈴木 良勝
委員	熊谷 良夫
委員	戸澤 勉

次回定例会は、6月上旬の開会を予定しています。傍聴を、お待ちしております。